

第652回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「ニュースエコー」

2020年7月22日(水)

(株) I B C 岩手放送

第652回IBC番組審議会

1. 開催日時 2020年7月22日(水) 午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|---------------------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 6名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 星 伸寿 澤口 たまみ 高橋 司 郷右近 勤 |
| 欠席委員の氏名 | 小松 務 龍澤 尚孝 藤野 静枝 新里 真士 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|--------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 眞下 卓也 | 取締役メディア放送本部長 |
| 若槻 修 | 報道局長 |
| 瀬谷 佳子 | 報道副部長 |
- 事務局
- | | |
|-------|-----------|
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局長 |
| 向井田真衣 | 番組審議会事務局員 |
4. 議 題 「ニュースエコー」
2020年6月30日(火) 午後6時15分～6時55分放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 多くのコンテンツ、情報をしっかり作っていただいていることは岩手県に住む者としてとてもありがたいし、素晴らしいことではないかと率直に感じた。
一方、目線は岩手ローカルに止まらないでグローバルな目線というか、われわれ住んでいる者に対して示唆を与えるような取材をしていただけると岩手のためになると感じた。
- クマ出没被害について、天気予報や花粉と同じように、クマの出没情報を共有する必要があるのかなと思う。「住宅地であっても1人で草取りしない、なるべく誰かと行動を、家の近くでもラジオを流す」とか、対処方法について毎回一言あるといいと思った。
- 特集の「10年目の被災地」、被災地はたくさん個別の課題があるが、復興終盤で課題が見えにくく、自ら掘り起こす必要のある状態の中、正に核心である復興のまちづくりの問題を正面から取り上げる意欲的なものだった。
- 特集の中で、宮古市の予算規模の変遷について、震災対策で900億円に跳ね上がり、対策が終わりに近づいて300億円に大きく減ったデータが出たが、「元に戻っただけ」という感覚を持つことも必要と気づいた。そこをきっちり説明するのはいいことだと思った。
- 最近ニュース・ショーのような番組が多いが、「ニュースエコー」は全体を通して、ニュースなので非常にフラットな立場で、どちら寄りでもなくフラットな立場での取材なり意見を示していると感じられて、非常に好感を持った。
- 特集のグラフ表示でやや見にくいところがあった。また、天気予報の、天気図が動く表示については経過についても時間を入れてほしい。
- コロナ感染者第一号が出た際の報道は慎重に行ってほしい。